

## ★漢方談義★

## 醫と薬と毒

太田 順康



倉禪洞

## 醫の語源

医は矢を匸（ハコ）に収めると云う意味で、爰はジツト立てておくという意味です。二つ合わせた「医匸」は物を入れ物にしまい込むになります。西は小さい壺のことで、壺に入れて置いておいた酒の意味になりました。

匸+爰+西=醫=壺に入れてしまい込むことで、梅酒、薬酒の意味になり、そこから薬酒を使って治す医療の意味を持つようになりました。

## 薬の語源

薬は櫟（くぬぎ）の源字で粒状の実が一杯なることから、小さい粒の意味になり、粒状にすりつぶすと云う意味になりました。例えば 礫=石の粒状になったもの一つぶで、砂利。 艸=草 艸+薬=病根を小さくつぶす草が薬です。=身体を薬にする草が薬とは2次的な意味。同音の謡（ギャギャ音を出す）にあてて音楽、快楽の意も持つようになってからです。

## 毒の語源

毒=熱や粥と同系の言葉 ドロドロになって形をうしなったものと云う意味です。

①草をグツグツ煮たものが煎じ薬で

②腐敗してドロドロになったものが毒です。

「毒薬を聚めて医事に供す」と古い言葉にあります。

毒にも薬にもならないと言いますが、毒でなければ薬にならないとも言います。漢方薬も薬である以上毒でもあります。

漢（中国の昔）時代の方（法則のある）薬が漢方薬です。薬の調合方法、煎じ方、服用法、どんな病気の場合に使い、どんな場合には使用していけないか書かれている薬方のことです。正しく使えば素晴らしい効果を発揮しますが、間違えて使うと悪影響（毒）がでます。

正しく使うためには

①生兵法は大怪我のもと。あの人に効いても、自分に効くとは限らない。

②しっかりした漢方の知識を勉強した人に、病人のすべての状態を話して相談する。

③相談の時、根掘り薬掘り聞かれるが、嫌がらずすべてを話す。ことが大切です。

## すこやか教室

曜日と時間：毎週金曜日 11:00～12:00

参加：無料

指導：原 菜奈美（理学療法士）

## &lt;1月の予定&gt;

私事ではありますが、2013年は我が家に新しい家族が増えます。そのため、日々の生活の中で、健康を維持する大切さを痛感しています。

何においてもやはり食事、適度な運動、そして「笑う」ということ。皆さんの健康の足しになれるよう、すこやか教室でも心地よい刺激を提供できればと思います。本年もよろしくお願ひいたします。

◎1月4日、第三子を無事出産しました。

そのため1月のすこやか教室はお休みと

させていただきます。

よろしくお願ひいたします。（原 菜奈美）

## お知らせ

§ 1月は、7日から始めます。

## § 漢方相談日

（担当 太田順康：日本漢方交流会認定漢方終身師範。岐阜県漢方研究会会長、岐阜薬科大学「漢方学」講師）

今月の漢方相談日は、下記のとおりです。

10日(木) 21日(月) 28日(月)

## § 1月の休診日

14日(月・祝日) 24日(木) 25日(木)

よろしくお願ひいたします。



スモーカーライザーで肺の空気を検査

☆たばこをやめて、健康を保て